

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670200544
法人名	有限会社 川内介護福祉会
事業所名	グループホーム 川内森の里
所在地	鹿児島県薩摩川内市中郷町6956番地49 (電話) 0996 - 27-6568
自己評価作成日	平成28年12月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者様の介護度や日常生活動作レベルを把握し排泄介助や生活援助を見直し自立支援に取り組んでいる。
- ・利用者様の毎日の食事にも配慮し希望を献立に取り入れたり、季節の食材を取り入れたり工夫をしている。また、月に2回クッキングデーとして皆で協力し楽しめる工夫をしている。
- ・地域の交流として、生き生きサロン参加や運動会、小学校バザー、お祭り等できる限り参加できるように支援している。また、ボランティアの訪問を定期的に依頼し楽しみや交流を図れるよう努力している。

- ・当ホームは、地域のいきいきサロンや運動会・バザーに参加したり、踊り等のボランティアや介護ボランティアを受け入れるなど、積極的に地域との交流を図っている。
- ・ホールから廊下・居室・トイレ等を見渡せる構造で、職員の目配りが届いており、必要な支援をタイムリーに行うよう努めている。
- ・個々のケアプランから本人に取り組んで欲しい目標を居室に掲示して、本人・家族の意識付けを行いながらケアに取り組んでいる。
- ・リハビリパンツや紙オムツを布パンツに変更することにより、トイレでの排泄及び排泄の自立支援に取り組んでいる。
- ・居室に家族からの要望等を書いてもらうノートを置くなど家族との協力関係を築くように取り組んでいる。
- ・調理師の専属の調理員がいて、利用者は毎日の食事を楽しみにしている。
- ・職員の資格取得に事業所として支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念として、毎朝の申し送りや会議等で理念について話し合い評価して共有できるように努めている。	開設時に作った理念をホールや事務所内に掲示し、パンフレットにも掲載している。毎月のケース会議で理念を読み上げ、ケアの振り返りを行って実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の生き生きサロンの参加や運動会、バザーへの参加を通して地域の一員であることを意識しながら交流を図っている。	自治会に加入し、総会には理事長が参加している。いきいきサロンや運動会等の地域行事への参加やボランティア受け入れ等で地域との交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	推進会議等で認知症の理解について事業所で行っている取り組みを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>災害対策や後見人制度など家族や隣の会社の方の参加を頂き意見交換を行い、サービスの向上に努めている。</p>	<p>会議は定期的に行われ、ホームの報告や意見交換を実施している。必要に応じて社会福祉協議会や消防署・隣接の会社にも参加してもらいサービスの向上に活かしている。家族は特定せずホーム便りを通じて参加を促している。活発に意見が出て話し合い、運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に市役所職員の方に毎回参加して頂き事業所の取り組みを報告している。また、疑問点などは都度聞き協力関係作りに努力している。</p>	<p>市担当職員へは窓口に出向いたり電話で相談・報告を行って、アドバイスを得ている。市及び協議会の研修会に参加し情報交換に努めている。運営推進会議には毎回参加があり、実情を伝えたり、情報を交換し協力関係は密である。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全職員が身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>マニュアルを作成しており、研修やケース会議で話し合い、禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるように取り組んでいる。言葉かけで気付いた場合はその場で注意している。日中は玄関の施錠はしておらず、庭に出て行く利用者には付き添ったり職員が目配りに対応し自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今後も事業所内での虐待に関し見過ごすことがないように全職員が注意を払い防止に努めていきたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	該当者がいる為、運営推進会議にて「成年後見人制度について」権利擁護センターの方に依頼し学ぶ機会を持った。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時の契約の際に利用者のご家族に十分な説明を行い、理解のもと納得され、契約、解約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話連絡時、家族会、病院受診時、運営推進会議の際に家族からの意見や要望を聞き出す努力をしている。利用者様からは日常での会話から要望や希望を聞き出している。	利用者には日常のケアの中で意見等を聞いて思いを把握している。家族からの要望等は運営推進会議時や家族会・面会時に出してもらったり、居室に要望等を書いてもらうようノートを置いている。電話でも意見や要望を聞き、職員全員で検討し改善やサービスの向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>共有すべき内容は毎朝夕の申し送りを利用したり、毎月、全職員参加のケース会議で意見交換や話し合いを行っている。</p>	<p>毎日の申し送りや月1回のケース会議で職員は意見や提案等を自由に出している。意見や要望を提案し全職員で検討して運営に反映している。個別相談は内容によって代表者や管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は職員の努力や実態勤務状況等把握し、職場環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修等への参加を積極的に推奨しており、研修記録を取り全職員へ会議で報告している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>北薩地区のGH協議会へ入会している。また、本年度よりGH協議会の役員として同業者との交流や意見交換を向上させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に、管理者とCMと面談を行う。本人の思いや家族の思いをすり合わせて信頼関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に家族とも面談を行い、本人の思いを伝えたくて、家族の思いも聞きながら信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人の思いと家族の思いをすり合わせて見極めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の生活歴を把握し、得意な事や生きがいを活用できる場を提供し共に行い信頼関係を築ける努力を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	看護師不在の為、病院受診等家族に協力して頂くことで逆に本人と家族の絆を継続し支えて頂けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや個別遠足では馴染みの場所へ行き支援に努めている。また、施設への面会も次回も来て下さるよう環境作りに努めている。	知人や家族の面会がし易い雰囲気作りに心がけている。電話取り次ぎや年賀状作成の支援も行っている。個別遠足・ドライブで自宅近くに出かけたり、家族との墓参・法事等でこれまでの生活や関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の人間関係を把握し、トラブルが続く場合は席替えをしたり臥床傾向の利用者様に声を掛けてもらったり支えあえるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、できる範囲で面会に行ったり情報提供したり利用者様や家族との関わりを大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活の中の会話や入浴介助(1対1)での個別時に本人の希望や思いを聞き取り把握できるよう努めている。	日常の会話や入浴時に意向の把握に努め、情報は申し送りで共有し支援している。思い等を表出できない利用者には、アセスメントを参考に表情・仕草等で推測したり、家族からの情報から本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりのこれまでの暮らしを家族に聞いたり本人より聞き取り把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方や自立支援に向けて有する力量を發揮できる場を提供したり、主治医へ相談し協力して頂いている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題とケアのあり方に柔軟に対応できるよう日々話し合い実践している。家族への報告や現状を伝えている。入院後はADLに合わせて変更している。	担当者会議に本人や家族・職員が参加して話し合い介護計画を作成している。アセスメントやモニタリングを6ヶ月毎に実施し、状況変化時に計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子、ケアの実践を記録している。医療申し送りや介護申し送りは別紙にて記入し結果等は個人記録に記入している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況等を把握し柔軟に対応できるよう心掛けている。病院受診が困難な利用者様は往診に変更してもらったり支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議や消防訓練、災害避難訓練、災害対策マニュアルを作成し安全に安心して暮らせるよう努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族と事業所とが協力し病院受診を行い支援している。利用者様のかかりつけ医を優先し継続して医療を受けられるよう努めている。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を家族またはホームで対応している。緊急時はかかりつけ医を優先し、協力医の協力も得ながら適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在、看護師不在の為介護職員が利用者様の健康管理に努めている。また、家族にも協力して頂き適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、施設の情報提供を行い協働している。また、環境の変化や不穏がみられる場合は面会し精神的なフォローを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、ターミナルケアや看取りについて家族に説明を行っている。入所後、病状が重度化した場合には主治医と家族と今後について話し合う機会を設けている。</p>	<p>契約時に「重度化した場合や終末期についてのホームの指針」を説明し、同意書をもらっている。重度化した場合、段階的に病状に沿って主治医に説明してもらい、家族と話し合っ方針を決めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応等の研修の参加や、資料等参考にして対応している。また、日中のうちの早目の病院受診を心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練を実施している。また、運営推進会議にも消防職員を招き指導して頂いたり自治会や民生委員、市役所の方々と情報を共有している。</p>	<p>年2回、消防訓練を昼夜想定で、消防署立ち合いで1回、自主訓練を1回、運営推進会議の協力も得て実施している。坂道での救急対応の訓練も行っている。非常用の水や米・食料・カセットコンロ等の備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者様の自己決定を尊重し、なかなか表出出来ない利用者様には、声掛けの工夫をして選択できるよう心掛けている。</p>	<p>年間計画で2回研修を実施している。利用者本人の自己決定を尊重している。排泄や入浴時の言葉かけに注意し、トイレ誘導・失禁時等の声かけは他へ分らないようさり気なく行い、トイレの戸は閉める等の対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者様の自己決定を尊重し、分かりやすい声掛けや意思が引き出せるよう心掛けている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様の自己決定を尊重し無理強いせず、見守っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>敬老会や遠足、戸外に出る場合希望があれば化粧を行っている。定期的にビューティーヘルパーを依頼し整容が保てるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の嗜好や季節を感じるメニューを取り入れている。又日曜日はホットプレートで「焼きそば」や「お好み焼き」など利用者様と一緒に作り楽しんでいる。	利用者の嗜好を聞き、専任の調理担当職員が嗜好や季節のメニューを取り入れて調理している。職員と一緒に下ごしらえや食事・後片付けをしており、誕生会は利用者の好きな物を作ったり、行事食・庭でのお茶・遠足で外食する等、楽しみを工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量をチェックしている。また、健康状態やADLの状態に合わせて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々のADLに合わせて支援している。また、不具合がある場合は、歯科往診を依頼し口腔内の清潔が保てるよう支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入所時のADLより改善できるよう一人ひとりの排泄パターンを把握し、自立に向けた取り組みを行っている。	生活の質の向上を目指し、個々のパターンによって声かけや誘導により基本的にトイレでの排泄を行っている。日中は全員が布パンツに尿取りパットを使用し、トイレでの排泄を支援している。改善されて、自力でトイレでの排泄ができる利用者が多数いる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動等促しできるだけ自然に排便ができるよう努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本は週3回だが、個々の希望や健康状態を考慮し柔軟に対応している。入浴拒否がある利用者様に対しては声掛けの工夫や本人のタイミングで無理強いすることなく入浴できるよう努めている。	入浴は基本的に週3回であるが、毎日でもできる。午後からの入浴も個々の希望や健康状態に合わせて柔軟に対応し、同性介助も行っている。入浴を嫌がる場合はタイミングを見て声かけし無理強いはしないで、入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の希望に応じ午睡や臥床に対応している。日中は、できるだけ活動し夜間はぐっすり休めるよう心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師不在の為、介護職員一人ひとりが責任を持ち服薬支援を行っている。また、主治医への情報提供や意見等伺い連携し管理支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>定期的にボランティア訪問を依頼(踊りや囲碁)個別にドライブをしたり気分転換できるように努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>施設では地域のサロンや運動会やバザー等、地域の方の協力をして頂き、また家族へもお盆やお正月の帰省を依頼している。</p>	<p>日常的には天気の良い日は庭で外気浴をしたり、洗濯物取り込みに庭と一緒に出ている。その日の状況でドライブに出かけることもある。行事で初詣・遠足・花見等があり、春の遠足は家族の参加もあり、秋は個別遠足で希望の場所に出かけている。家族と墓参り・法事・正月等で外出等の支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日常の金銭の所持は紛失やトラブルを避けるため、本人了承のもと施設で管理。遠足や本人の希望があれば家族に相談し可能な限り対応している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があれば、家族に連絡している。手紙のやりとりは希望があれば行える。年賀状に関しては毎年作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	丸小屋作りで、のんびり過ごせる空間作りをしている。テレビの音や室温調整や日当たり等居心地のよいように工夫をしている。	ホールは窓からの採光で明るく空気清浄機やエアコンで適度な室内環境が保たれている。四季の移り変わりを感じられるよう、川内川湖畔が見渡せる窓際にソファークーナーを設けたり、季節の作品や利用者の作品が飾られ楽しい雰囲気づくりをしている。丸太小屋をイメージするホールから居室が見渡せ、利用者の動きがよくわかるように設計されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを配置し、ゆっくりTVを見たり利用者様同士が会話できるように工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドやタンス、椅子やテーブルは備え付けだが、入所時にできるだけ馴染みの物を持ち込んでもらい安心できる空間作りにも努めている。	居室にはベッド・タンス・椅子・テーブルが設置されており、個々に馴染みのものを持ち込み、本人の必要に応じて写真や作品・人形を飾り、衣装かけを持ち込んだりして、落ち着いて過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入所時は特に気を使い、迷わない様声掛けや居室の前に印を付けたら工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない